

労働市場の概要（平成22年1月）

岡山労働局 職業安定課

TEL 086-801-5103

雇用情勢

1月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月より0.03ポイント上昇し0.59倍となった。（原数値比較でも前月より0.03ポイント上昇した。）

これを求人・求職の内訳でみると、前月と比較して、有効求人数（季節調整値）が0.5%増加し、有効求職者数（季節調整値）は4.7%減少した。

1月の新規求人数は、前年同月と比較（原数値）すると、主な産業では、金融・保険業(43.0%増)、不動産業・物品賃貸業(20.0%増)、学術研究・専門技術サービス業(20.1%増)と増加している産業も一部にみられるが、建設業(43.3%減)、製造業(19.4%減)、情報通信業(22.8%減)、運輸業・郵便業(22.6%減)、卸売・小売業(21.7%減)、宿泊業・飲食サービス業(37.5%減)、生活関連サービス業・娯楽業(25.7%減)、教育・学習支援業(16.9%減)、医療・福祉(11.1%減)、サービス業(他に分類されないもの)(22.2%減)と依然多くの産業で減少し、全体では対前年同月比21.5%減と27ヶ月連続で減少となっている。

新規求職は、大幅な増加となった前年同月比で16.2%減と前月に続き2ヶ月連続で減少した。

この結果、有効求人倍率（季節調整値）は、0.59倍と前月より0.03ポイント上昇したものの、求人に力強さはなく、県内の雇用情勢は依然厳しい状況が続くことが懸念される。

1 有効求人倍率（季節調整値）

1月の有効求人倍率は0.59倍となり、前月より0.03ポイント上昇した。〔過去最低：昭和38年1月の0.51倍〕

(1) 有効求人（パートを含む）

- 1月の有効求人は25,046人で、対前年同月比（原数値比較）で24.8%減少し、対前月比（季節調整値比）では0.5%増加した。
- 対前年同月比（原数値比較）で27ヶ月連続して減少した。

(2) 有効求職（パートを含む）

- 1月の有効求職は38,372人で、対前年同月比（原数値比較）で5.8%増加し、対前月比（季節調整値比較）では4.7%減少した。
- 対前年同月比（原数値比較）で17ヶ月連続して増加した。

(3) 1月の正社員の有効求人倍率は0.40倍（原数値）となった。

2 新規求人倍率（季節調整値）

1月の新規求人倍率は1.02倍となり、前月より0.04ポイント低下した。

(1) 新規求人（パートを含む）

- 1月の新規求人は11,196人で、対前年同月比（原数値比較）で21.5%減少し、対前月比（季節調整値比較）でも10.3%減少となった。
- 対前年同月比（原数値比較）では27ヶ月連続して減少した。

○ 産業別新規求人状況（対前年同月比）は、

▲建設業	43.3%の減少	学術・専門技術サービス	20.1%の増加
▲製造業	19.4%の減少	▲宿泊・飲食サービス業	37.5%の減少
▲情報通信業	22.8%の減少	▲生活関連サービス業・娯楽業	25.7%の減少
▲運輸業・郵便業	22.6%の減少	▲教育・学習支援業	16.9%の減少
▲卸売・小売業	21.7%の減少	▲医療・福祉	11.1%の減少
金融・保険業	43.0%の増加	▲サービス業	22.2%の減少
不動産業・物品賃貸業	20.0%の増加		

(2) 新規求職（パートを含む）

- 1月の新規求職は10,515人で、対前年同月比（原数値比較）で16.2%減少し、対前月比（季節調整値比較）でも、6.2%減少した。
- 対前年同月比（原数値比較）は2ヶ月連続で減少した。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は518,679人で、対前年同月比0.1%の増加となり、13ヶ月ぶりに増加した。

また、受給者実人員（基本分）は、11,452人で対前年同月比は14.7%増加し、受給率は2.2%で前月より0.1ポイント低下した。